



JASO推奨品・推奨工法認定 認定番号NO.16

# 『ブラストキー工法』株式会社E&CS

低騒音・低振動・低粉塵による環境に配慮した次世代型のチップングに代わる新しい目荒らし工法「ブラストキー工法」がJASO推奨工法（認定番号No.16）に認定されました。

従来の電動ピックを用いたコンクリート面の目荒らしに替えて、コアドリルを用いてコンクリート面に凹部を設けることで、耐震補強のコンクリート部材との一体化を確保しています。

マンションにおいては住まいながらの耐震補強が一般的であり、従来の目荒らしに比べて騒音や振動、粉塵、工期が大きく抑えられ、居住者の工事中の負荷を軽減することができます。

接合面のせん断耐力をブラストキーが負担するので、あと施工アンカーを最大2割も減らすことができます。

ブラストキー工法の設計・施工指針に示される接合面の設計施工法の適用範囲、設計法、施工法、施工品質管理等の方法に関する妥当性について、建築研究振興協会の技術（性能）評価書（BRP-R1803014-OST）を取得していることなどがJASO推奨工法に認定された理由です。

（技術情報委員会／宮城秋治）

**Method** いい構造は、いい目荒らしから。これからは、管理のできる目荒らしへ。  
 プラストキー工法とは？  
**「ブラストキー工法<sup>®</sup>」は、低騒音、低振動、低粉塵で、環境に優しい、チップングに代わる新しい目荒らし工法です。**

**Advantage** 本工法の特徴

**建築構造物のあらゆる接合面に適用可能**

耐震補強の鉄骨・制震ブレース等の接合面、増し打ち壁の接合面のみならず、新築・増改築によるコンクリート接合面全般に適用できます。

**せん断耐力の定量評価が可能**

技術者の技量に左右されず、一定の形状で施工ができます。そのため、せん断耐力の定量評価が可能となり設計に耐力を考慮できます。

**建物を使いながら施工可能**

施工時に打撃を与えないため、躯体を伝わる騒音・振動を大きく抑えます。さらに、粉塵はほとんど発生しないため施工現場はクリーンです。

**簡単な施工で容易な品質管理**

施工は専用のコアビットで穿孔するだけ。チップングでは管理できなかった目荒らし面積を、ブラストキーでは個数で管理することができます。

**コンクリート接合で高い一体性を確保**

工法のポイントとなるブラストキーは、コンクリートとの凹凸で支圧抵抗することにより、高いせん断耐力を発揮します。ブラストキーがせん断耐力を負担することで、あと施工アンカーを最大20%削減可能です。

チップングによる目荒らしの場合  
ブラストキーによる目荒らしの場合

**チップングからブラストキーへ置き換えが簡単**

簡単な設計手法でチップング以上の耐力をブラストキーに置き換えができます。

チップング  
ブラストキー工法

ブラストキーの施工は振動工具を使用しないため、作業者の負担を大幅に抑えることができます。また施工スピードが速いため、工期短縮が期待できます。

**環境に配慮した施工**

穿孔作業にコアドリルを使用するため、従来工法（チップング）に比べて周波数成分で最大約20dBの騒音低減が可能です。

騒音とともに振動を抑制し、発生する粉塵はほぼゼロです。

**施工事例**  
(某小学校改修工事)

学期中の耐震補強工事であり、通常のチップングでは騒音・振動が大きいためブラストキー工法<sup>®</sup>が採用されました。騒音・振動・粉塵を抑えることができた授業に支障をきたすことがありませんでした。

ブラストキー工法<sup>®</sup>による施工事例

人の耳が聞き取りやすい周波数帯

騒音レベル<sub>eq</sub> (dB)

周波数 (Hz)

※ O.A. (オーバーオールレベル) での測定値です。測定数分析毎の極値をとった合成レベルをオーバーオールレベルといいます。

（ブラストキー研究会 TEL 0120-109-686）